

令和3年度行政事業レビュー 公開プロセスにおける論点
「製造所固有記号・機能性表示食品届出データベースの整備・運用」

令和3年6月25日
消費者庁行政事業レビュー推進チーム

1. 事業ターゲットの明確化

- 事業のターゲットは、制度に基づき届出・登録を行う事業者がメイン、また、消費者による簡便な閲覧も可能としていることから、消費者が2次的なターゲットという整理で良いか。
- その場合、データベースの整備・運用に当たり、各ターゲットに応じた工夫はなされているか。

2. 成果指標の設定の妥当性

- 成果指標の設定は妥当なものとなっているか。上記のように事業ターゲットを設定すると、これに応じた指標の在り方・設定として、どのようなものがあり得るか。

3. 事業の性質を踏まえた成果創出の方策

- 既に5年国庫債務負担行為で請負事業者との契約済であり、新しいデータベースが稼働している中で、食品表示制度等に関連する他の事業も含めて、より実績・成果を向上させるための方策はあり得るか。
- これまで、システムの更新を通じた届出業務の効率化等を行うことにより、事業成果の向上につなげているか。